

市立幼稚園の現状と今後の在り方について

1 市立幼稚園の現状

(1) 市立幼稚園の概要

- ・舟戸幼稚園は昭和 26 年、南平幼稚園は昭和 50 年と、それぞれ、戦後復興・高度経済成長を背景とした第 1 次・第 2 次ベビーブーム期に創立され、人格形成の基礎を担う教育機関として、特色ある教育・運営を行ってきた（昭和 36 年文部省「実験幼稚園」等、国や県、市の研究委嘱の実績もある）。

①幼小中連携教育の推進、小学校への円滑な接続を図る教育体制

②幼稚園教育要領に則した生きる力の基礎を育む保育の実施（体験を通した主体性重視の質の高い教育等）

③特別な支援を要する子どもの受け入れ（心身への配慮・外国籍等）

	舟戸幼稚園	南平幼稚園
所在地	舟戸町 2-2	東領家 1-16-19
創立案月	昭和 26 年 4 月	昭和 50 年 4 月
建築年度（築年数）	平成 13 年度（築 23 年）	昭和 49 年度（築 50 年）
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2 階建	鉄筋コンクリート造・1 階建
延床面積	1,073 m ²	794 m ²
対象年齢	3 歳・4 歳・5 歳	3 歳・4 歳・5 歳
定員	105 人（35 人×3 クラス）	105 人（35 人×3 クラス）
職員数	12 人（園長 1・教諭 5・事務 1・園務員 1・補助職員 4）	12 人（園長 1・教諭 5・事務 1・園務員 1・補助職員 4）

(2) 市内未就学児（3 歳～5 歳）の状況

- ・本市の子どもの人口は減少傾向にあり、令和 6 年 5 月 1 日現在、市内在住の未就学児のうち 3 歳から 5 歳の人口は 13,062 人である。また、市内の幼稚園・認可保育所・認定こども園の在園児数（市外通園児含む）は、認可保育所が 6,072 人と最も多く、次いで幼稚園 5,505 人、認定こども園 1,154 人となっている。

（単位：人）

区分	幼稚園			認可保育所			認定こども園/5 園
		市立/2 園	私立/36 園		市立/40 園	私立/94 園	
3 歳	1,580	22	1,558	2,038	827	1,211	347
4 歳	1,899	33	1,866	2,009	841	1,168	394
5 歳	2,026	26	2,000	2,025	863	1,162	413
計	5,505	81	5,424	6,072	2,531	3,541	1,154

（幼稚園・認定こども園）令和 6 年度学校基本調査・（認可保育所）保育幼稚園課資料より

(3) 市立幼稚園の園児数の推移

- ・令和6年5月1日現在の3歳から5歳の人数は、令和元年同日時点より15.3%減少し、13,062人、市内私立幼稚園の園児数は41.0%減少し、5,424人となっている。
- ・舟戸幼稚園・南平幼稚園の園児数も年々減少し、令和6年度は、令和元年度より47.4%減の81人となり、定員210人に対する在籍率は38.6%となった。

(単位:人)

		市内人口	私立幼稚園		市立幼稚園		舟戸幼稚園		南平幼稚園	
			園児	定員(在籍率)	園児	定員(在籍率)	園児	定員(在籍率)	園児	定員(在籍率)
元年度	3歳	5,155	2,882	11,260 (81.6%)	—	—	—	—	—	—
	4歳	5,151	3,095		63	140(45.0%)	27	70(38.6%)	36	70(51.4%)
	5歳	5,116	3,213		91	140(65.0%)	53	70(75.7%)	38	70(54.3%)
	計	15,422	9,190		154	280(55.0%)	80	140(57.1%)	74	140(52.9%)
6年度	3歳	4,115	1,558	9,550 (56.8%)	22	70(31.4%)	12	35(34.3%)	10	35(28.6%)
	4歳	4,424	1,866		33	70(47.1%)	19	35(54.3%)	14	35(40.0%)
	5歳	4,523	2,000		26	70(37.1%)	12	35(34.3%)	14	35(40.0%)
	計	13,062	5,424		81	210(38.6%)	43	105(41.0%)	38	105(36.2%)
対比		-15.3%	-41.0%		-47.4%					

学校基本調査より(各年度5月1日現在)

(4) 市立幼稚園運営費の状況(※別紙参照)

- ・平成26年度から令和5年度までの幼稚園費の決算額の推移をみると、10年間で大幅な財政負担増は確認できないものの(平成26年度129,363,102円→令和5年度125,421,705円)、園児数減少に伴い(平成26年度120人→令和5年度48人)、1人あたりの年間運営費は約2.6倍となっている。

(5) 在園児保護者のニーズ

- ・令和元年6月、市立幼稚園在園児の保護者を対象にアンケート調査を実施したところ、回答者137人のうち、市立幼稚園を選んだ理由として最も多かった項目は「保育内容」(98.5%)、次いで「先生」(97.8%)、「保育料」(92.0%)との結果となった。幼稚園への要望上位3項目は、「延長保育」(75.9%)、「3年保育」(69.3%)、「送迎バス・駐車場」(67.2%)となり、このうち、「3年保育」については、人員配置及び施設運営面・予算面で実施可能かつ施策効果が期待できることから、令和3年度より実施している。

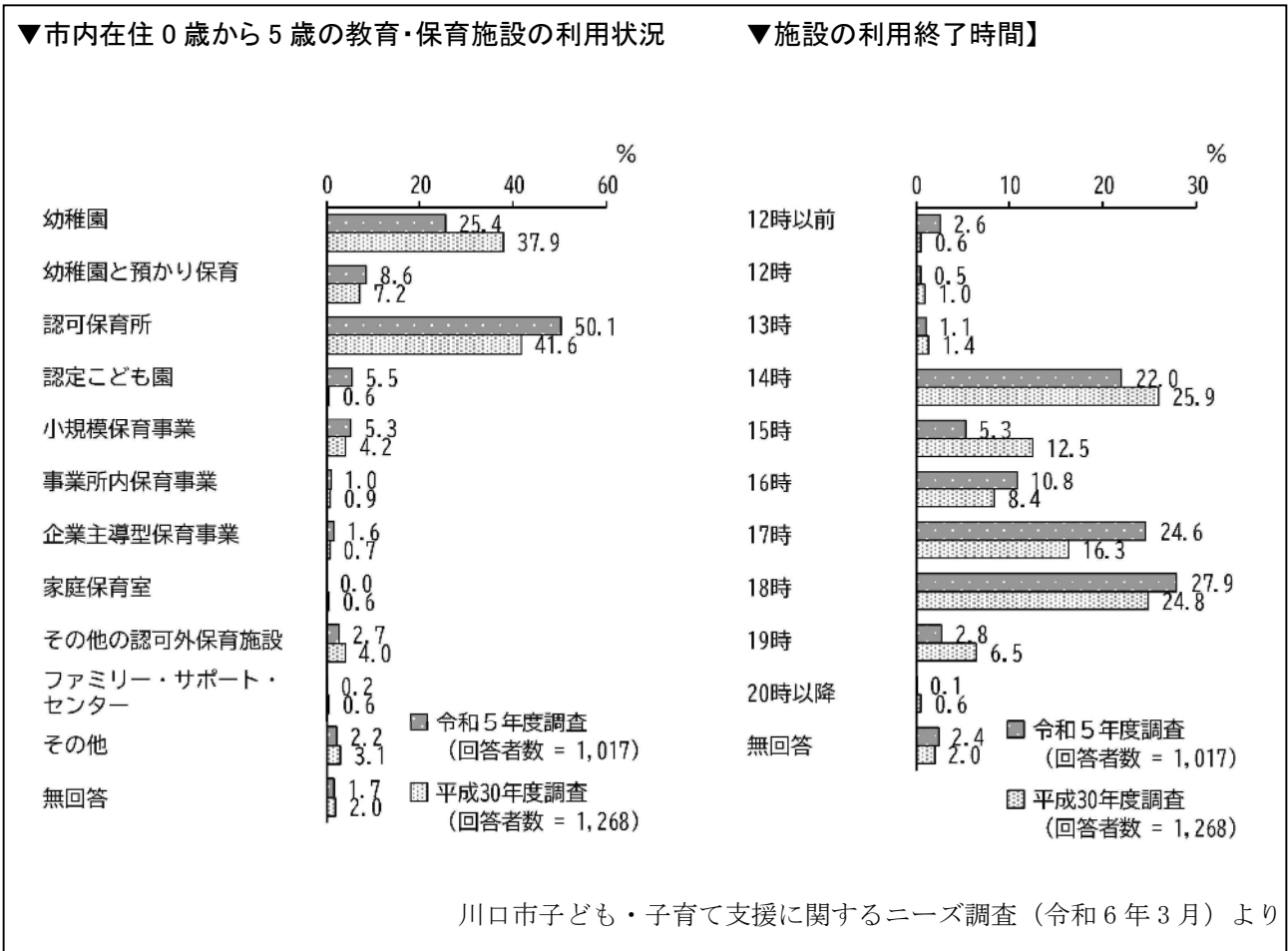
回答者137人(複数回答)

公立幼稚園を選んだ理由	1 保育内容	135人(98.5%)
	2 先生	134人(97.8%)
	3 保育料	126人(92.0%)
幼稚園への要望	1 延長保育	104人(75.9%)
	2 3年保育	95人(69.3%)
	3 送迎バス・駐車場	92人(67.2%)

在園児童保護者のアンケート調査(令和元年6月)より

2 市内子育て世代の教育・保育施設の利用状況

- ・令和5年度に実施された「川口市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」における市内在住0歳から5歳の教育・保育施設の利用状況をみると、「認可保育所」が50.1%、「幼稚園」の割合は25.4%であり、平成30年度の調査結果と比べ、「認可保育所」が増加し、「幼稚園」が減少した。
- ・施設の利用終了時間については、「18時」27.9%、「17時」24.6%となっており、平成30年度調査と比べ、「14時」「15時」等早い時間の割合が減少し、遅い時間が増加している。



3 市立幼稚園の今後の在り方

(1) 校外教育及び公立幼稚園在り方検討委員会

- ・市立幼稚園は、子育て世代の幼児教育の選択肢の一つとなっているが、少子化や幼児教育・保育無償化の影響等による園児数減少を踏まえ、今後の在り方を検討すべき時期にある。
- ・令和4年度、行政評価外部評価委員会より、市立幼稚園の存続について、抜本的な見直しを含めた検討を求められたことを受け、同年12月に教育局内に検討委員会設置、令和5年度末までの6回の会議の中で、課題解決に向けた方向性や在り方に関する協議を行った。

①委員構成 学校教育部長（委員長）

庶務課長、学務課長、指導課長、学校保健課長、学務課主幹、指導課主幹、教育研究所副所長、教育総務課長

②会議開催 令和4年度 第1回 令和4年12月20日

第2回 令和5年2月6日

第3回 令和5年3月20日

令和5年度 第1回 令和5年7月26日

第2回 令和5年11月8日

第3回 令和5年12月27日

- ##### ③協議内容
- ・外部評価委員会の結果を踏まえた諸課題の検討
 - ・他自治体アンケートによる事例研究
 - ・今後の方向性案の検討（継続・統合・廃園） 等

(2) 令和6年度第1回川口市総合教育会議

- ・市立幼稚園の現状を踏まえ、総合教育会議において、今後の検討の方向性について市長並びに各教育委員の意見を伺った。

①委員構成 奥ノ木市長、井上教育長、齋藤教育委員、中田教育委員、菅原教育委員、小野寺教育委員

②会議開催 令和6年8月9日

③会議議題 市立幼稚園の現状と今後の課題について

- ##### ④主な意見
- ・段階的な統廃合は必要だが、慎重に検討し、特別な支援を要する児童や家族が困らないようにすること。
 - ・検討にあたっては、多方面から様々な意見を聞くこと。
 - ・民間の力も考慮しながら検討すること。

小中学校の適正規模・適正配置の検討同様、市立幼稚園についても、一定の存在意義は有するものの、園児数の推移や施設の老朽化の状況、社会情勢や市民ニーズ、本市の財政状況等を総合的に勘案し、統廃合を含めた今後の在り方の方向性を検討することが求められている。

幼稚園費決算額・園児数推移

【別紙】

(単位:円)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
5 幼稚園費	129,363,102	134,242,216	130,492,572	120,651,592	118,113,637	120,979,918	124,780,970	131,792,354	127,665,853	125,421,705
1 幼稚園費	129,363,102	134,242,216	130,492,572	120,651,592	118,113,637	120,979,918	124,780,970	131,792,354	127,665,853	125,421,705
報酬(R2-)	—	—	—	—	—	—	1,132,992	2,257,920	2,257,920	2,893,860
給料	59,632,241	60,663,962	57,310,272	53,313,236	49,533,712	53,020,461	52,631,584	56,199,184	52,589,385	48,836,288
職員手当等	32,930,847	33,711,535	32,694,235	28,789,538	28,120,322	29,392,004	29,445,158	29,755,815	30,863,980	28,140,302
共済費	17,655,618	18,540,696	18,631,444	16,535,233	14,950,869	15,381,347	16,973,749	17,602,140	16,968,514	14,668,052
賃金(-R1)	1,357,400	1,358,000	1,351,000	1,351,000	1,350,850	1,522,250	—	—	—	—
報償費	180,000	180,000	15,000	15,000	18,000	18,000	18,000	15,000	18,000	15,000
旅費	321,354	287,705	306,675	365,550	408,873	157,528	133,694	257,380	216,643	229,525
需用費	6,703,739	5,698,816	6,186,084	5,240,002	7,181,891	4,880,930	6,651,061	7,448,954	6,840,352	7,347,707
役務費	482,047	494,254	509,470	5,081,057	8,121,049	7,828,390	8,333,395	9,292,753	8,912,885	9,601,690
委託料	6,332,657	6,866,065	6,889,829	3,368,991	1,611,408	1,530,378	1,616,695	1,709,221	1,892,150	2,255,508
使用料及び賃借料	107,496	3,385,622	4,137,800	4,206,979	4,268,058	4,804,991	5,504,788	5,536,799	5,575,196	7,097,287
工事請負費	1,251,720	496,800	0	0	0	0	0	0	0	2,601,500
原材料費	59,420	89,628	76,158	54,918	58,039	59,214	55,924	94,314	117,560	125,910
備品購入費	1,989,033	2,043,933	2,059,405	2,004,888	2,083,766	2,059,225	2,171,730	1,521,767	1,312,412	1,515,217
負担金・補助及び交付金	359,530	425,200	325,200	325,200	325,200	325,200	112,200	101,107	100,856	93,859
償還金・利子及び割引料	0	0	0	0	81,600	0	0	0	0	0
備考	ﾌﾞﾛｯｸ塀補強工事(南平) 児童ﾄﾞﾚｽｼｮﾝ装置補修工事(舟戸)	ﾌﾟｰﾙｽｲﾁ 疵設置工事(舟戸)			過年度保育料還付金		会計年度任用職員制度開始	3歳児受入開始(各園AT1人増)		下駄箱交換工事(南平)
園児1人あたり年間経費	536,776	642,307	618,448	561,170	641,922	785,584	1,134,372	1,231,704	1,595,823	1,393,575
園児数	舟戸幼稚園	120人	105人	115人	124人	110人	80人	57人	63人	48人
	南平幼稚園	121人	104人	96人	91人	74人	74人	53人	44人	42人
	市立2園計	241人	209人	211人	215人	184人	154人	110人	80人	90人